

野球 平成30年度秋季近畿地区高等学校野球滋賀県大会

1回戦 彦根東 1 - 3 北大津

TEAM	一	二	三	四	五	六	七	八	九	R
彦根東	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
北大津	0	1	1	0	0	0	0	1	X	3

1点 が遠く
無念の初戦敗退

9月9日に県立彦根球場で平成30年度秋季近畿地区高等学校野球滋賀県大会の1回戦が行われた。本校は北大津高校と対戦し1-3で敗れた。



▲8回に二塁打を放った和田君



▲9回表に適時打を放つ森野君



▶新チームの背番号1を背負って登板した根元龍馬君(2-3)

新チームのさらなるレベルアップに期待

速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校
新聞部
彦根市金亀町4番7号

1回表の本校の攻撃、2番の加藤陽也君(2-2)がレフト前安打を放ち無死一、二塁とチャンスを作ったが、その後得点することができなかった。試合が動いたのは2回裏の相手の攻撃、本校内野の配球が乱れ相手に先制点を許してしまった。その後3回にも一点を取られ0-2のまま試合は進み、終盤に入った8回表の本校の攻撃、守備で途中出場した和田隆君(2-6)が左中間二塁打を放ち、続く3番川嶋清太君(2-3)は一塁に進んだものの走者を送れずチャンスを送った。8回裏、守備の乱れの間走者1人が還り3点差となった。9回を迎えた本校の攻撃、一死一、二塁で1番森野隼人君(2-4)が中前適時打を放ち2点差としたものの、追加点を奪えず試合は終了した。

主将の川嶋君はこの試合を「練習試合などで課題にしていたことが悪く出てしまい、一番良くない負け方になった」と振り返り、新チームの現状については「甲子園を目指す気持ちは全員にあるが、まだまだ力が足りていない」と明かした。次の春の大会へ向けは「試合を一つひとつ自分たちの力で勝っていききたい」と意気込んだ。

9回表に適時打を放った森野君は「走者が一、二塁にいて併殺も考えられる場面だったが、走者を返すために思いっきり打った」と打ち明けた。そして今後に向けては「みんなが敗因を考え、練習から意識的に取り組んで「絶対に次は勝つ」という気持ちで頑張りたい」と意気込んだ。

監督の村中隆之先生はこの試合を「本来の力が出せていない情けない試合だった。選手が恐がっていて自分に任せとけ、という気持ちが見られなかった」と分析された。また試合で見つかった課題を「相手に向かっていく気持ちに問題がある。誰かに何か言われるからする、のではなく大切なことだからする、という考え方や姿勢が大事だ。この意識は日々の生活でも必要で、嫌なことから逃げず、すべきことを丁寧に、求められたこと以上のことを返すことができなければならない」と指摘された。最後に村中先生は「引退した3年生の力で登った山を降りて、自分たちの代力をつけていかなければならない。力をつけ、出しきる練習がどれほどできるかにかかると先を見据えられた。」